

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・売上高、来客数、販売点数が前年を上回っている。新規テナントの売上により、売上高は前年を9%上回っている。震災発生以降、消費マインドの低下が顕著であるが、1点単価・来客数が前年を上回り、売上高は回復の兆しが見られる。
	やや良く なっている	百貨店（営業企 画）	販売量の動き	・3か月前は改装オープンやイベント等前年に無い企画による上乗せの状況であったが、今月は前年に対しての特殊と件も無く、改装した衣料品フロアを中心に夏物クリアランスを含め前年比107%の推移となっている。
		スーパー（販売 企画担当）	販売量の動き	・3か月前の販売量は前年比95%程度であったが、今月は99%を推移しており、良くなっているようにみえる。
		家電量販店（総 務担当）	販売量の動き	・地上デジタル放送の本格スタートへ向けた購入が増えている。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	来客数の動き	・3月の東日本大震災以降、人の動きや目抜き通りのにぎわいは前年並みとは言わないが、少しずつ回復している。ただし、高価な商品等の動きは無い。客の減少による価格競争もあり、また客自身が節約モードで価格に敏感である。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・3か月前に比べ若干ではあるものの、稼働率において前年同月実績との差が縮まってきている。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・今月後半より新商品の発売が相次ぎ、販売量が上向いてきている。販売は人気商品に偏っているが、在庫も潤沢なため良い傾向ではある。
		住宅販売会社 （総務・企画分 野）	来客数の動き	・住宅展示場への集客数は、順調に推移している。競合他社も含め建売棟が建築され、客の来場機会が増えている。
	変わらない	コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・例年に比べて、ビールや冷たい飲み物を買う客が減っているように見受けられる。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・いまだに物流が安定せず、客は欲しい商品を探して買い回っている。
コンビニ（エリ ア担当）		販売量の動き	・梅雨明けが通年より早く、暑さも加わり飲料やアイスを中心に好調に推移している。たばこもコンビニエンスストアへの納品を優先しているため、前月中旬ごろからさらに売上が伸び、前年比30%増で推移している。たばこ以外の売上も前年を超えており、今月は前年同月に比べると稼げている。	
その他専門店 〔書籍〕（店 長）		販売量の動き	・販売量、来客数共に3か月前からあまり変化が見られない。	
ゴルフ場（経営 者）		来客数の動き	・若干、沖縄観光の好転が期待されているが、ゴルフプレイヤーに関しては変わらないというのが現状である。	
その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当）		来客数の動き	・東日本大震災の影響で、観光客の利用が前年に比べて2割程減少している。	
悪く なっている		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・例年6月は連休後で落ち込むが、今年は東日本大震災の影響が、平日の入客が極端に変動し、日によっては例年の5分の1しか入客が取れないことが再三ある。今年は台風が立て続けに来て、生鮮物が値上がりし、また放射能の風評で仕入れに苦労している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新築住宅の申込及び契約件数が増加している。
		輸送業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・例年より梅雨明けが早い。家具、家電商品の物量が非常に増えている。
	変わらない	輸送業（代表 者）	受注量や販売量 の動き	・宮古地区・八重山地区が好調で、久米島地区は低調のままである。
通信業（営業担 当）		受注量や販売量 の動き	・システム開発では受注が滞っていて、組込み系では受注が好調である。	

	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事は減少し、前年を下回る。民間工事は大型工事が減少、住宅・賃貸アパートの建築はあるが、全体的に減少している。
		コピーサービス業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量が減り、販売価格が年々下がってきている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・幅広い業種から、複数人数の新規の派遣依頼が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・受注案件の全体の合計件数が、ここにきてやっと東日本大震災前と同程度に回復してきている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・最近は求人かける企業数自体も下降気味である。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・沖縄進出予定の本土企業から求人があるが、採用未定の企業もあり、全体的にみて求人数は変わらない。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	